



今週は「テストに挑む」ベシ!

「テスト」と聞いて、「うれしい!」と思う人はあまり、いや、ほとんどいないでしょう。でも、テストはやってきます。逃げることはできません。どうせ逃げられないのだから、後ろ向きに取り組まず、前向きに取り組むほうが得策です。一番ダメなことは、勉強しないで悪い結果を出して、「ああ、自分はできないんだ」と思い込むことです。そんな風に考えず、今週は前向きに「テストに挑む」ベシ!

NHKの『テストの花道』という番組があります。受験やテストに楽しく向き合おう、という番組ですが、その番組の質問コーナーで、ある高校生の質問に、顧問の所ジョージさんが次のように答えていました。

相談：テスト勉強で、無駄なく時間を過ごしたいのですが、いつもぼおーっとして気付くと勉強できる時間が減って困っています。無駄なく、時間を有効活用する方法を教えてください!

所さん：自分が時間をちゃんと区切れなかったりするんで、私はできないんだって言い訳にしてるけど、やるんですよ。まずはやりださないと。動きもしないでおもしろいことは始まんないし。

「楽しいことないな」って待ってたって、こっち向かってくれる人いないし。自分からいって、きっかけを伝えて枝を拾ったらそこから大木になっていくとか。なにかすごいものがくっついてる可能性もたくさんあるんだよ。とにかく動き出せば、いろんなことが起きますよっていうことですよ。動かないのに、どうすればボーっとしないで済むかなんて、ボーっとしてるからずっとボーっとしてるだけで。なにか動き出せば歩き出せばいいの。情報を五感にたくさん入れるっていうことですよね。そうすると、なにか始まるんで。なんか、楽しいことが自分に向かってきてくれるとみんな思ってるみたいだけど、そうはないですよ。自分から行かないと。出だしはつまなくても、やがてはおもしろくなったりするんだから。皆さん出だしつまないと、手出さないけど、意外と引っ張ってみると何がくっついてくるかわかんないじゃん。

とにかく、具体的に動く（何かからでも勉強する）こと、これが今、大切なことなのですね。

教育実習生からのメッセージ!

《効果的な勉強方法は?》

田尾：わたしの家にはテスト発表中のルールがありました。「ニュースを見るとき以外にテレビをつけるのは禁止」というものです。これは家族全員も協力しなければなりません。驚いた人も多いかもしれません。だけど私は自分に甘くなってしまおうから、このルールがあって良かったと思っています。

嘉祥寺：まず、自分が集中して勉強できる場所を見つける。図書館でも、窓の近くのあの席という風に具体的に。勉強していく中で、自分の勉強のスタイルを見つける。ひたすら書くのが自分にあっている人もいれば、テスト形式にしてタートルノートに書いていくのが得意という人のいると思います。そしてテスト直前は、まだ完ぺきに準備できていないところや不安なところだけを確認すれば済むように、できるところはチャックしていき、もう何度も勉強しない、というアドバイスをしておきます。

《詫中生へのメッセージを!》

田尾：印象的だったのは、校門前でのおいさつです。朝は交通指導員さんや教頭先生が立っています。皆さんはきちんとおいさつできていますか。「おはようございます」という元気な声が聞こえると嬉しくありませんか。1日の始まりの「おはようございます」の声が元気だと、その1日はとても良い日になるような気がします。おいさつは、皆さんと皆さんの周りの人を元気にさせますよ。

嘉祥寺：私が詫中生のみなさんに願うことは、みなさんがなりたい職業に就いて、大人になって、幸せな人生を歩んでほしいということです。皆さんには将来の夢がありますか。なりたいものがあれば、そのために何をすべきかが分かってきます。夢は自分をやる気にさせてくれて、はげましてくれます。まだ悩み中の人、考えたことがない人は、もし、夢が見つかった時に「自分には無理だ」とあきらめなくてもいいように、今、目の前にあることを全力で頑張ってください。頑張ったことは必ずプラスになって返ってきますよ。

